

グローバルヘルス合同大会2026 一般演題(口頭発表) 一覧

セッション	演題番号	発表者	演題名	座長 1	座長1所属	座長2	座長2所属
11月27日(金) 10:50-12:00 第5会場(ソニックスティビル 6F 601)							
O1 国際教育・交流・人材育成	O1-1	黒谷健吾	診療放射線技師養成校における国際化教育の現状と課題に関する研究	虎頭 恭子	国立健康危機管理 研究機構 国際医療 協力局	田村 純人	東京大学病院
	O1-2	城田ふみ	タンザニア・タボラ州におけるWHO Basic Emergency Care (BEC) コースを用いた地域救急医療体制強化への取り組み ―JOCS・TAHO・EMAI協働による地域医療人材育成モデルの構築と教育効果評価―				
	O1-3	横山周平	Identifying Hidden Workflow Barriers in Implementing Infection Prevention and Control in Tertiary Hospitals in Assam, India				
	O1-4	佐藤朱李	ネパール山岳地域におけるCommunity Health Worker事業の実践と成果				
	O1-5	高野友花	保健医療人材を対象とした日本における能力強化研修の効果に影響する要因の解明：ラオス人民民主共和国とモンゴル国における質的研究				
	O1-6	向語城	臨床看護師を対象とした文化コンピテンシス尺度の開発				
	O1-7	山田秀臣	海外実習生における感染制御への取り組み				
11月27日(金) 10:50-12:00 第6会場(ソニックスティビル 6F 602)							
O2 外国人保健医療	O2-1	沢田貴志	日本語学校結核健診における入国前結核スクリーニング(JPETS)結果活用の試案	南谷 かおり	地方独立行政法人 りんくう総合医療 センター国際医療 広報センター	坂本 昌彦	佐久総合病院佐久 医療センター 小児科
	O2-2	呉 玟	当院での技能実習生入職前健診の集団健診対応と課題 ―全国分散配置される技能実習生の結核受診アクセスを中心に―				
	O2-3	加藤真帆	糖尿病性足壊疽を呈した不法残留者に対し、帰国を見据えた医療・社会的支援を試みた一例				
	O2-4	岩水結子	帰国を希望する移民への医療支援―IOMの自主帰国及び社会復帰支援 (AVRR) の概要―				
	O2-5	河津聖里奈	移民受け入れ国における子どもへの言語支援と発達への影響についてのスコーピングレビュー				
	O2-6	高橋 香	多文化社会に対応した医学教育における文化的能力：主要移民受入国の国際比較デスクレビュー				
	O2-7	岸和田裕悠子	分娩取扱い施設における外国人妊産婦の受け入れ環境整備と助産師の困難感				
11月27日(金) 10:50-12:00 第7会場(ソニックスティビル 6F 603)							
O3 ウイルス・真菌・細菌感染症	O3-1	NGUYENTHI NGA	デング熱性発熱患者における ウイルス性病因の標的型 メタゲノム解析	氏家 無限	国立健康危機管理 研究機構 国際感染症セン ター	戸叶 美枝子	埼玉医科大学病院 感染症科・ 感染制御科
	O3-2	清原知子	日本における A型肝炎と海外渡航				
	O3-3	櫻井康晃	ブンディギョウィルスの表面糖タンパク質が介する感染過程の解析				
	O3-4	FaizahAstri Nur	各種細胞株の感受性解析による Ntaya群オルソフラヴィウイルスの人獣共通感染リスク評価				
	O3-5	直井文桜	伝染性膿痂疹簡易診断法の開発				
	O3-6	池袋理緒	流行地で簡便に実施可能なレプトスピラ症診断法の開発・検討				
	O3-7	山川路代	インド旅行者における健康情報探索行動の関連要因：COVID-19パンデミック前・中・後比較				
11月27日(金) 10:50-11:50 第8会場(ソニックスティビル 6F 604)							
O4 高齢者保健・医療、介護	O4-2	清水栄一	在日外国人MCI高齢者の認知機能維持に寄与する社会資源の特徴：高齢者支援組織への調査データの二次分析	青柳 佳奈子	国立健康危機管理 研究機構 国際医療 協力局	岡村 世里奈	国際医療福祉大学 大学院 医療通訳・ 国際医療マネジメ ント分野
	O4-3	熊谷優季	Purpose in Life as a Predictor of Capability Well-being Among Older Adults in Thailand: A Cross-Sectional Study				
	O4-4	藤山美咲	東南アジア出身の介護技能実習生における口腔ケア -日本人指導者の語りをおして-				
	O4-5	トウィンカウン ミヤット	Oral health education and mental well-being among older adults: Evidence from an 18-month randomized				
	O4-6	富田英里子	特定技能介護人材の定着支援に必要な要因を探索した実践報告				
	O4-7	河田里奈	日本とネパールをつなぐ特定技能介護人材育成モデルの構築 ―教育・定着を重視したフェアリクルートメントの実践―				
11月27日(金) 14:20-15:10 第2会場(ホール棟 4F 国際会議室)							
O5 医療通訳の育成	O5-1	加藤美恵子	グローバル・コンピテンシーを兼ね備えた医療通訳・医療コーディネーターの育成 〜チーム医療の一員として、医療従事者との協働を目指す医療通訳・医療コーディネーターの役割を、事例を通して考察する。〜	中谷 大作	大阪大学医学部附 属病院	平林 史子	DNDi Japan／長崎 大学大学院熱帯医 学・グローバルヘル ス研究科
	O5-2	平井寛季	大学病院における院内通訳者対応と電話医療通訳の利用実態				
	O5-3	東山裕香	台湾人患者に対応した医療通訳のための台湾華語医療用語集の作成と中国語との比較分析				
	O5-5	シャンテイ	医療者通訳者と非医療者通訳者のコミュニケーション・スキル比較				
	O5-6	森田直美	発達障がい児とその家族への通訳支援経験を有する通訳者の困難と研修ニーズに関するオンライン調査				
11月27日(金) 14:10-15:20 第5会場(ソニックスティビル 6F 601)							
O6 国際協力・援助政策	O6-1	瀧澤郁雄	経路依存と信頼資本―日本の保健医療ODAにおける技術協力の歴史的展開―	高橋 香	国際移住機関 (IOM)	野村 亜希子	International SOS
	O6-2	杉浦江	EBS通報交換を通じた海外CDC等との国際連携強化の取組み				
	O6-3	山川貴生	南スーダン・アビエイ地域におけるコレラのアウトブレイク対応 ―コレラ治療ユニットにおける薬剤師活動の実践報告―				
	O6-4	澤田沙希	WHOサマースクール活動報告：タンザニアの都市部における新生児死亡率高値の要因に関する多角的検討				
	O6-5	大町檀	JICA母子保健クラスター戦略：モニタリング結果と戦略改訂				
	O6-6	野崎威功真	ASEANにおける健康危機対応人材システムの課題：eSPARおよびJEE分析				
	O6-7	野崎威功真	ASEAN加盟国の看護職のコンピテンシーに見る健康危機対応の準備：比較分析				
11月27日(金) 14:20-15:20 第6会場(ソニックスティビル 6F 602)							
O7 医療機関の受入体制	O7-1	有田奈未	医療通訳者の視点からみた外国人患者をめぐる在留資格制度上の課題	日野原 千速	国立健康危機管理 研究機構	守山 祐樹	国立健康危機管理 研究機構 国際感 染センター
	O7-2	山田義人	外国人旅行者における地域クリニックから専門医療機関への紹介実態と転帰				
	O7-3	李玉順	医療目的外国人患者からみた企業所属国際医療コーディネーター (International Medical Coordinator：IMC) の役割 ―専門職化に向けた基礎的検討―				
	O7-4	森内暖安	地方港湾都市の救急外来における訪日外国人診療の実態：2017―2025年の単施設後方視的検討				
	O7-5	池村小葉	訪日外国人患者の医療費対応における患者支援の実践―国際医療支援室と医事課の連携を通して―				
	O7-6	益田充	和歌山医療通訳ボランティア派遣事業スタート！～災害時を見据えて、平時から～				

セッションタイトル	演題番号	発表者氏名	演題名	座長1氏名	座長1所属	座長2氏名	座長2所属
11月27日(金) 14:10-15:20 第7会場(ソニックシティビル 6F 603)							
08 女性と子どもの健康	08-1	仲村礼子	日本国際看護師による来日早期の女性技能実習生へのSRHR健康教育の実践報告	細澤 麻里子	国立健康危機管理研究機構 国際医療協力局 グローバルヘルス政策研究センター	柴沼 晃	東京大学大学院医学系研究科 国際地域保健学教室
	08-2	モーモータンダー	タイ・ミャンマー国境地域における難民、移民、および避難民の女性と女児の性と生殖に関する健康と権利に関するスコーピング・レビュー				
	08-3	松木さくら	カンボジアにおける医療的ケアが必要な児の在宅医療と療育～現状と課題理解のための質的調査				
	08-4	阿部貴美子	国内移民女性のセクシャル・リプロダクティブ・ヘルスへの交差性の影響：カンボジア縫製工場の若年労働者の場合				
	08-5	古田国治	コンゴ民主共和国農村部におけるブラインドスリーブ型AI超音波妊婦健診の実用性評価：医療従事者・非医療従事者による精度比較と多施設拡大研究計画				
	08-6	杉野好美	授乳期女性のケア実践としての葉草療法ジャムウ利用 ―中部ジャワの行商婦の事例―				
	08-7	京寛美智子	Assessing needs for AI-based feedback system for neonatal resuscitation in Cox's Bazar, Bangladesh: Field observations and future directions				
11月27日(金) 14:20-15:20 第8会場(ソニックシティビル 6F 604)							
09 取り残されやすい人たちの健康・健康格差	09-1	田口実佳	ベトナム人女性技能実習生の妊娠に関する認識と相談行動：質的記述的研究（第一報）	田中 奈美	順天堂大学大学院医学研究科グローバルヘルスリサーチ研究室	中村 安秀	公益社団法人日本WHO協会
	09-2	櫛淵渥	子宮内でのデング熱曝露と生後3年間の小児の入院・死亡：ブラジルの行政データを持ちいた後ろ向きコホート研究				
	09-3	平山貴一	From Invisible Needs to Inclusive Policy: A Field-based Policy Making Framework from Bhutan, Sri Lanka, and the Thai Myanmar Border				
	09-5	サンドバル・ガリドフェリーペ・アルフォンソ	チリ高齢者における経済的困難、家族機能と重い病気の医療・ケア希望に関する話し合い				
	09-6	田中奈美	日本在住移民における医療アクセス関連因子の媒介分析：言語能力・ヘルスリテラシー・社会資源の経路				
	09-7	村上仁	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）に向けたグローバルおよび国家レベルの政策形成における理念と政策議論過程の役割：言説的制度論の枠組みを用いたIntegrative Review				
11月28日(土) 8:00-8:50 第8会場(ソニックシティビル 6F 604)							
010 寄生虫・顧みられない熱帯病	010-1	小川桜子	肝臓および中間宿主ヒメモノアラガイの環境DNA検出を目的としたLAMP法の基礎的検討	千種 雄一	獨協医科大学教育開発・国際交流センター	保科 斉生	東京慈恵会医科大学 内科学講座 感染症内科
	010-2	池田恵理子	マウス実験中のTrypanosoma cruzi希釈溶液による針刺し事故後、post-exposure managementを行った一例				
	010-3	AngelesJose Ma. M.	Regional One Health Collaboration for Schistosomiasis Elimination in Southeast Asia: Key Outcomes from the First International Meeting of the Southeast Asian Schistosomiasis Elimination Initiative				
	010-4	高橋（松本）エミリー	フィリピン・レイテ島における環境DNAおよび地球観測データを用いた日本住血吸虫とその媒介貝の空間疫学解析				
	010-5	近藤裕哉	トルコ西部での事前調査に基づく知見と報告：皮膚リーシュマニア症管理ガイドラインの策定に向けた意識調査				
11月28日(土) 13:50-14:50 第3会場(ソニックシティビル 4F 市民ホール 401+402)							
011 保健システム・UHC	011-1	堀井聡子	ベトナムにおける看護人材規制制度の現状―COVID-19パンデミック以降に焦点を当てて	佐々木 由理	国立保健医療科学院 公衆衛生政策研究部	櫻井 眞理子	医療法人拓生会 奈良西部病院 診療技術部
	011-2	東弘美	カンボジアにおけるCOVID-19流行期以降の看護人材規制制度の整備過程と影響要因に関する分析				
	011-3	安達周子	Impact of the termination of the free maternal and child health service policy on household finance in Lao PDR				
	011-4	佐藤美穂	Institutionalizing Dignity: A Qualitative Analysis of Shared Values and Deterrence in a Multi-Sectoral GBV Response in Kapiri Mposhi District, Zambia				
	011-5	喜多桂子	リーダーシップ・マネジメント強化を通じて保健システム強化を実践化するアプローチ：ケニアを事例として				
	011-6	中西康裕	所得水準に比してUHCサービス・カバレッジ及び経済的保護指標が相対的に良好な国の特徴：162ヵ国を対象とした横断研究				
11月28日(土) 13:50-14:50 第5会場(ソニックシティビル 6F 601)							
012 災害・紛争	012-1	川瀬佐知子	Healthcare Activities during Armed Conflict from the Perspective of Health Care in Danger: A Case Report from Al-Quds Hospital, Gaza Strip	清野 薫子	国立保健医療科学院 防災・公衆衛生レジリエンス研究センター	成島 三長	三重大学医学部附属病院
	012-2	益田充	ジャマイカにおけるハリケーン災害支援の経験より、プラネタリーヘルスを考える				
	012-3	ユバークン	タイ・ミャンマー国境の医療体制に対するUSAIDの予算削減の影響：メディアの質的分析				
	012-4	レシャードカレット	アフガニスタンにおける母子の健康と出産対策の課題				
	012-5	中島 麻紀	移民・難民・少数民族集団における終末期ケアの不平等に関するスコーピングレビュー				
	012-6	井田暁子	Navigating fragmented health systems: pathways to childhood cancer diagnosis in Burkina Faso				
11月28日(土) 13:50-14:50 第7会場(ソニックシティビル 6F 603)							
013 プラネタリーヘルス・ワンヘルス	013-1	松本一希	市街地の樹木は高齢者の長い歩行時間・短い座位時間と関連：日本全国の縦断研究	橋爪 真弘	東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学 / 長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科	忽那 賢志	大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学
	013-2	アデウンミオルワシェウン アデバヨ	ナイジェリア沿岸先住民コミュニティにおける気候曝露・睡眠障害・心理的苦痛に関する二つの視点混合研究				
	013-3	PARREIRASPATRICK A MARTINS	Advancing Global Health with 3D-Printed Animal Restraint for Biosafety and One Health				
	013-4	天野むらさき	ベトナム北部および南部の家畜における鳥インフルエンザウイルスならびに豚インフルエンザウイルスのサーベイランス				
	013-5	若林真美	Dog Therapy & One Health Campus Well-Being Experience: Feasibility and Effects				
	013-6	庄司弥生	大学生におけるプラネタリーヘルス教育経験と気候変動・健康に関する認知・行動の関連				
11月28日(土) 15:30-16:30 第4会場(ソニックシティビル 4F 市民ホール 403+404)							
014 インバウンド医療	014-1	井上博睦	インドネシアインバウンドの萌芽 当施設での3年間の受け入れ実績の推移	小笠原 理恵	大阪大学医学部附属病院 国際医療センター	中山 久仁子	医療法人メファ仁愛会 マイファミリークリニック蒲郡
	014-2	李雲柱	「2025年大阪・関西万博」前後でみた外国人旅行者を対象とした診療の変化と課題 ―都市型一次医療機関における1,237例の検討―				
	014-3	結城将明	国際検診受診者における居住地域・言語背景と呼吸器疾患関連所見の検討				
	014-4	関根里恵	国内外検診者の代謝特性と食行動の特徴				
	014-5	丸山沙知恵	高度医療を求めて来日するインバウンド患者との関わりの中で看護師が抱える困難感				
	014-6	岸和田谷悠子	2025年日本国際博覧会の医療救護室における看護職員の外国人対応の探索的調査				

セッションタイトル			演題番号	発表者氏名	演題名	座長1氏名	座長1所属	座長2氏名	座長2所属
11月28日(土) 15:30-16:30 第6会場(ソニックシティビル 6F 602)									
O15 栄養・NCD	O15-1	須賀智絵	小児ネフローゼ症候群患者に対する減塩食の摂取状況と受容性に関する観察研究：カンボジアの小児病院における取り組み	土谷テオリン ちひろ	神戸大学	三木田 肇	防衛医科大学校 国際感染症学講座		
	O15-2	Charlotte GyanCharlotte Gyan	Exploring strategies to enhance the implementation of the Nutrition Friendly School Initiative: A qualitative study in the Denkyembour District of Ghana						
	O15-3	Ai Yasutomi	The Prevalence of Double Burden of Malnutrition among Mother-Child Pairs in Malawi and Associations with Dietary Factors						
	O15-4	陳三妹	Household food insecurity and pregnancy distress among pregnant Tanzanian women: A cross-sectional study						
	O15-5	川口良子	Factors Associated with Patient Satisfaction Among Outpatients with Type 2 Diabetes Mellitus at Mahosot Hospital, Vientiane Capital, Lao PDR: A Cross-Sectional Study						
	O15-6	河野なるみ	医薬品供給の不安定化に伴う製剤変更が小児がん患者に及ぼした影響— ジャパンハートアジア小児医療センターからの報告						
11月29日(日) 8:00-9:00 第6会場(ソニックシティビル 6F 602)									
O16 ワクチン・海外渡航者の感染症	O16-1	寺田教彦	北関東における地方中核病院の黄熱ワクチン接種に伴う地域渡航医療への影響	小川 拓	大阪医科薬科大学 医学部 微生物学・ 感染制御学教室	中村 (内山) ふくみ	東京都立墨東病院		
	O16-2	井手あやこ	駒込病院における狂犬病曝露後予防受診者の動向についての検討— 2013-2025年の解析—						
	O16-3	宮津 光伸	初診時におけるA型肝炎・B型肝炎抗体検査の有用性と必要性						
	O16-4	池田恵理子	西ケニアにおけるマラリアワクチン接種率とマラリア感染への関連						
	O16-5	関雅文	退室後も多剤耐性菌が環境から検出された中国からの多剤耐性菌保菌患者症例						
	O16-6	原田 岳	海外渡航に伴う大腸菌・薬剤耐性菌の変動に対するプロバイオティクス 摂取の影響						
11月29日(日) 9:10-10:00 第6会場(ソニックシティビル 6F 602)									
O17 学校保健・思春期保健	O17-1	伊藤久美	モザンビーク地方部の公立中等学校における女子生徒の月経対処と経験— 学校・NGO教育と家庭・地域の文化的慣習が共存する中で—	岡田 文子	山形県保健医療大 学	竹内 理恵	国際医療福祉大学 大学院 医学研究科 公衆衛生学専攻 国 際保健・感染症学 分野		
	O17-2	駒澤牧子	ウガンダの思春期女子における意図しない妊娠から中絶に至る意思決定 プロセス：支援ニーズの探索						
	O17-3	IffatJahan	Menstrual Health Needs and Existing Support Gaps among Street- connected Girls in Dhaka						
	O17-4	Rina Kawata	Menstrual Attitudes among Adolescent Girls in Nepal						
	O17-5	澤柳孝浩	ジェンダー・トランスフォーマティブ・アプローチから検討する若年女 性の居場所・相談支援						
11月29日(日) 9:40-10:40 第8会場(ソニックシティビル 6F 604)									
O18 マラリア・結核	O18-1	中嶋舞	CRISPR/Cas9により作製したpthrp2/3欠損熱帯熱マラリア原虫が迅速診 断法の検出能に及ぼす影響	田中 健之	長崎大学熱帯医学 研究所 臨床感染症 学分野/長崎大学 病院 総合感染症科	塚田 訓久	埼玉医科大学総合 医療センター 感染 症科・感染制御科		
	O18-2	本田なつ絵	国内におけるマラリア迅速診断薬の有用性の検討						
	O18-3	山元佳	国立健康危機管理研究機構におけるXN-31導入によるマラリア検査状況 の変化						
	O18-4	加賀谷涉	ケニア西部マラリア流行地におけるマラリア累積感染リスクの空間的解 析						
	O18-5	レシャードカレット	アフガニスタンにおける国際支援の制限による肺結核感染の悪化とその 対策						
	O18-6	平島萌子	国境を越える人の移動に対応する公衆衛生対策：入国前スクリーニング の効果的実践における情報管理システムと放射線精度管理						
11月29日(日) 10:10-10:40 第6会場(ソニックシティビル 6F 602)									
O19 保健情報・統計	O19-1	陳宇豪	世界的な再流行と大規模集会上における侵襲性髄膜炎菌感染症のサーベ イランス：日本からの視点	中西 康裕	国立保健医療科学 院	河津 信一郎	帯広畜産大学 原虫 病研究センター		
	O19-2	早坂章	2025年改訂UHCサービス・カバレッジ・インデックスの改訂前データと との比較						
	O19-3	蓋若エン	子ども関連の公的投資と健康・ウェルビーイングアウトカム—OECD/パ ネルデータによる縦断分析						